

2018（平成30）年度事業計画書

特定非営利活動法人 生活習慣病防止に取り組む市民と医療者の会

1 事業実施の方針

糖尿病とその合併症、心筋梗塞や脳卒中、がんや認知症など生活習慣に起因するとされる疾病は多岐にわたり、かつ患者数も多い。しかし自覚症状に乏しく予防し改善させることは困難である。糖尿病腎症による人工透析症例数や認知症の増加に対処する必要性が高まっている。子どもの頃からの取り組みが必須である。そこで当会は設立の趣旨に則り、行政機関および関連団体との連携を強化して、生活習慣病の防止を広く一般市民に働きかける活動をしてきた。

これまで蓄積させた活動実績やフットワークとネットワークをもとに2018年度も社会の期待に応える方針である。

また今後のさらなる会員の増強と財政基盤の安定充実を目指す。

(1) 調査・情報事業

ホームページやブログの内容を充実させ、会員はじめ医療・教育・行政関係者と一般市民に向け広く情報を発信する。ホームページ・メーリングリストを通じ、会員相互のコミュニケーションを深め、会の活動の活発化を図る。外部関係者・市民との自由な意見交換を行いながら事業推進を図る。『小象の会会報』（年2回）と『糖尿病通信』を作成し配布に努める。会員、行政機関および関係団体・報道機関などへ配布して、会の広報と会員募集を行う。児童生徒向けの啓発活動をさらに推進する。

(2) 講演会・セミナー等開催事業

会員・医療関係者および一般市民向けの生活習慣病予防治療フォーラムの第24回を2018年6月16日に、第25回を2019年2月16日に主催する。第24回は講演「心不全パンデミックに備えるー心不全は予防できるー」をテーマとした専門家の講演と質疑・情報交換交流会を開催する。第25回フォーラムは「糖尿病性腎臓病」を中心に講演会を開催する。また、各種団体などからの出前講演の要請に対して、役員・会員が協力して対応する。

(3) 連携・協力事業

行政機関・関連団体と連携し、各種会合に出席して情報提供と意見具申などを行う。

生活習慣病防止に関連する団体の活動を支援するとともに、さまざまな機会を捉えて啓発活動を行う。ロッテ球団と連携して、ZOZOマリンスタジアムにおいて電光掲示板によってメッセージを発信する。ゲート付近で来場者・家族・子ども達を対象に血圧・体脂肪・血糖値測定や肺機能検査・健康クイズなどの啓発イベントを実施する。

禁煙活動については、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を機に、さらに企業と協力して推し進め、千葉県医師会の受動喫煙防止キャンペーンに協力する。

千葉県糖尿病対策推進会議が進める千葉県糖尿病療養指導士/支援士(CDE-Chiba)認定事業に協力する。同会議が進める1型糖尿病啓発にも協力する。さらに厚労省が主導し千葉県が推進する、糖尿病腎症ならびに慢性腎臓病の防止のための啓発事業に協力する。市民の健康を左右する様々な問題を踏まえて活動する。

(4) 関連事業

SNSなどを利用した広報活動の可能性を模索する。また、各役員・会員が所属する学会・団体の会議・集会へ出席して広報を行う。これまでの活動をまとめ、健康啓発に関わる人々への参考となる図書等を企画・発行する。健康関連クイズ集の発行も検討する。